

第55回日本健民少年団連合全国大会

1. テーマ「一期一会・忘己利他」

「一期一会」 『茶の湯での出会いは、たとえ同じ顔ぶれで集まったとしても一生に一度きりのものであり、互いに心を尽くして大切にしなければならない』という意味で、千利休の茶道の筆頭の心得です。その考えを、大老・井伊直弼が自分の茶道の一番の心得として、「茶湯一会集」という本の巻頭に「一期一会」の言葉を書き世の中に広めました。

これから何度でも出会うことはあるけれど、もしかすると二度と出会えないかもしれないという覚悟で人には接したいものです。

「忘己利他」 滋賀県に生まれた最澄は、平安時代の僧で天台宗を開きました。天台宗を開くに当たって「山下学生式」という書を著しました。この書の中に「忘己利他」の言葉が登場します。最澄は『己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり』と述べています。「自分を忘れて他人のためにつくす」ことを言います。健民少年団活動で大切にしていきたいものです。

全国大会では多くの仲間が集います。「一期一会」「忘己利他」の精神を活動に生かしてほしいと思います。

2. 交歓のタベ「ヒミツの健民SHOW」

ところかわればしなかわる・・・と言いますが、それぞれの地方には独特の物産があり、物の価値も異なります。さらに、異なる風俗習慣や文化があります。全国大会では、各地の方言や言い回しが聞けることも楽しみの一つです。

そこで、各地の風習・食べ物・考え方・方言・生活様式・特産物などを紹介していただく場として「ヒミツの健民SHOW」を行います。県・市・町でも都市団のことも結構です。一般にはあまり知られていない「素敵なヒミツ」をカミングアウトして下さい。他地域の良さを知ると共に、自分たちの故郷のすばらしさを再認識していただきたいと思います。必要な準備物があれば、お知らせ下さい。

3. キャンプファイヤー「スタンプ」

大会二日目には、キャンプファイヤーを行い、火を囲みながら楽しいひとときを過ごしたいと思います。各都市団から、3分程度のスタンプをお願いします。

4. 「健少検定」

健民少年団活動に関する知識を問う検定試験です。健民少年団では、野外活動・地域活動・集会活動・奉仕活動等を行っていますが、それぞれの活動で得た技能や知識の確認を中心に問題を作成します。検定を通して健民少年団のよさを再発見し、これからも積極的に活動しようとする意欲を喚起することをねらいとします。

特に級や合格基準は設けませんが、成績発表は行う予定です。出題数や回答方法は当日発表とします。